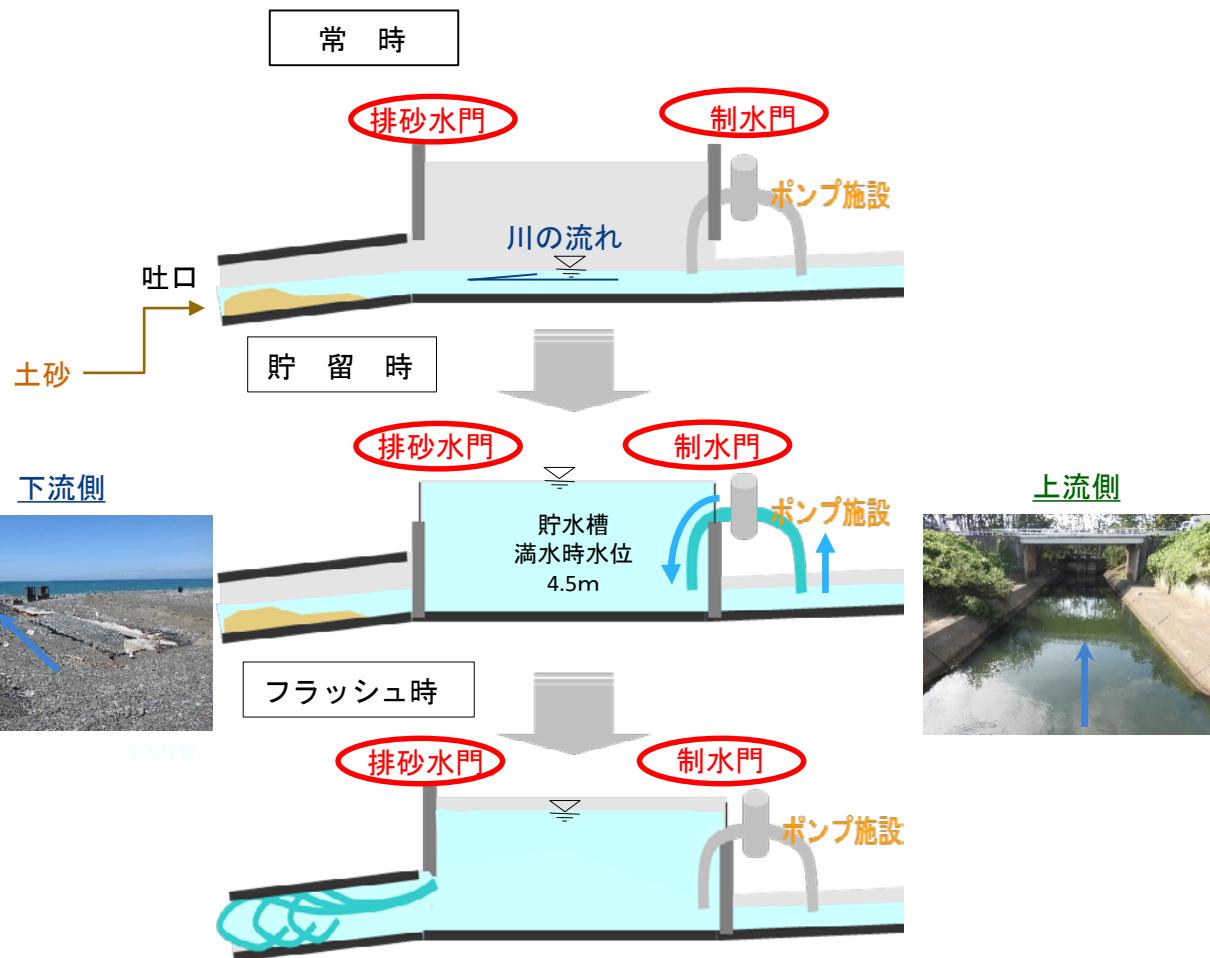


TOPICS：沼川第2放水路のフラッシュについて

今回のTOPICSは沼川第2放水路のフラッシュについてです。

フラッシュ放流のメカニズムについては「なますくん通信2号」のTOPICSに掲載しているののであわせてご覧ください。



沼川第2放水路では、川の上流側にある制水門と下流側にある排砂水門という2つの水門を閉じることで、川の中に水を貯めるための水槽（貯水槽）をつくります。

貯水槽には水位4.5m、水量約6,500 tの水を貯めることができます。

水を貯めた後に排砂水門を開け、一気に放流（フラッシュ）させて吐口に溜まった土砂を海に排出して、吐口の埋塞を防ぎ、常に、最大限の能力が発揮出来るよう適切な維持管理を行っています。

今後整備予定の沼川新放水路のフラッシュ施設は、沼川第2放水路とは違う方法で検討しています。その方法については次回以降のなますくん通信に掲載する予定です。

なますくん通信 7

沼津土木事務所
沼川新放水路整備課
R2.11.10 発行



海岸部仮設防潮堤の施工状況 令和2年11月時点

なますくん通信とは

この広報誌「なますくん通信」では、沼川新放水路整備事業を中心に、沼川流域における治水対策事業について分かりやすく説明していくとともに、これからの川づくりの最新情報をお知らせしていきます。

目次

沼川新放水路事業は順調に進んでいます

NEWS①: 海岸部の工事(国土交通省委託工事)
とつぼん
凸版印刷跡地の函体工事

NEWS②: 工事用車両が沼川本川を渡る仮橋①を架けました

NEWS③: 工事用車両が雁作川を渡る仮橋②を架けました

TOPICS: 沼川第2放水路のフラッシュについて



沼津土木事務所 沼川新放水路整備課
Tel: 055-920-2129



沼川新放水路事業は順調に進んでいます

沼川新放水路は、一級河川高橋川と沼川の流水を合流させ、直接駿河湾に注ぐ延長約2.3kmの放水路で、途中、国道1号、JR東海道本線、海岸防潮堤など、重要構造物の下を横断する箇所もあります。

今回は、現在各所で順調に進んでいる工事の進捗状況について紹介します。



📏: 今回紹介する箇所を示す

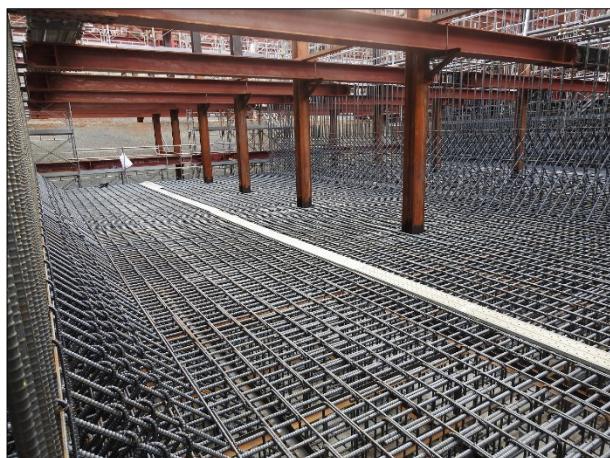
NEWS①: 海岸部の工事(国土交通省委託工事) 凸版印刷跡地の函体工事

海岸部の国土交通省委託工事では、矢板を二重に打込み、その間に土砂を詰めることで防潮堤の代わりとなる仮設防潮堤の工事が順調に進められています。完成次第、今の防潮堤を取壊し、函体工事に着手していきます。

また、凸版印刷跡地の工事区間では、沼川新水路初となる1本目の函体の底部鉄筋が組みあがり、こちらも順調に工事が進んでいます。



海岸部工事
仮設防潮堤の施工状況



函体工事
底部鉄筋組立完了

NEWS②: 工事車両が沼川本川を渡る仮橋①を架けました

沼川新放水路の工事車両が使うための仮橋を設置しました。このあと令和2年度の工事でアスファルト舗装を実施します。

アスファルト舗装工事が終わった後は、JR委託工事と新放水路に橋を架ける工事で仮橋が本格的に使われることになります。

また、沼川新放水路の2号橋詳細設計を令和2年度、1号橋詳細設計を令和3年度に実施する予定であり、詳細設計が完了したのち、順次、橋の工事へ着手していきます。



NEWS③: 工事車両が雁作川を渡る仮橋②を架けました

新放水路の国道1号より上流の区間では、築堤工を進めるための工事車両が、沼津市O116号線から工事箇所へ進入するための、雁作川を渡る仮橋を設置しました。

今後は、この橋を使って工事車両が出入りを行いますので、ご理解、ご協力の程、宜しくお願いします。

